

保護者の皆様へ

京都市立音羽川小学校
校長 鎌田 真行

令和2年度 後期学校評価について

先日はお忙しい中アンケートにお答えいただきありがとうございました。
集計の結果がまとまりましたので報告いたします。

今回は、児童・保護者・教職員それぞれから実現度をたずねるアンケートになっています。

			はい	だいたい	あまり	いいえ	わからない
設問1	児童	勉強(べんきょう)がよくわかりますか	44%	47%	8%	1%	1%
	保護者	お子さんは勉強がよくわかるかといっていますか	18%	67%	11%	3%	1%
	教職員	よくわかる授業	5%	71%	10%	5%	10%
設問2	児童	家(いえ)で毎日(まいにち)学習(がくしゅう)していますか	50%	30%	12%	6%	1%
	保護者	お子さんの家庭学習は習慣化していますか	23%	55%	16%	6%	0%
	教職員	家庭学習が習慣化する指導	14%	48%	14%	14%	10%
設問3	児童	すすんであいさつをしていますか	37%	35%	20%	6%	1%
	保護者	お子さんはすすんであいさつしていますか	19%	51%	24%	5%	1%
	教職員	すすんであいさつをする指導	14%	57%	19%	10%	0%
設問4	児童	きまりを守(まも)っていますか	34%	54%	9%	1%	2%
	保護者	お子さんはきまりを守っていますか	25%	60%	12%	3%	1%
	教職員	きまりを守る指導	33%	57%	5%	5%	0%
設問5	児童	誰(だれ)からも大切(たいせつ)にされていますか	48%	26%	5%	3%	17%
	保護者	お子さんは誰からも大切にされていますか	63%	35%	1%	0%	1%
	教職員	誰もが大切にされる学級づくり	38%	43%	10%	0%	10%
設問6	児童	早寝・早起き(はやね・はやおき)をしていますか	28%	40%	22%	8%	1%
	保護者	お子さんは規則正しい生活ができていますか	23%	54%	18%	4%	0%
	教職員	規則正しい生活の指導	19%	57%	14%	0%	10%
設問7	児童	防犯(ぼうはん)や安全(あんぜん)に気(き)をつけていますか	61%	28%	7%	2%	2%
	保護者	お子さんは防犯や安全を意識できていますか	25%	61%	14%	1%	0%
	教職員	防犯や安全についての指導	33%	48%	14%	0%	5%
設問8	児童	学校(がっこう)が楽(たの)しいですか	64%	24%	6%	5%	1%
	保護者	お子さんは学校が楽しそうですか	46%	45%	5%	2%	2%
	教職員	学校が楽しいと思える学級づくり	29%	62%	5%	0%	5%
設問9	児童	困(こま)ったときは誰(だれ)かに相談(そうだん)していますか	46%	28%	15%	7%	4%
	保護者	お子さんは困ったときは誰かに相談していますか	30%	52%	15%	3%	1%
	教職員	相談しやすい人間関係づくり	33%	52%	10%	0%	5%
設問10	児童	どんなことにもすすんで取(と)り組(く)んでいますか	35%	42%	15%	5%	3%
	保護者	お子さんは何事にも積極的に取り組んでいますか	18%	55%	23%	3%	1%
	教職員	主体性を育む指導	10%	71%	19%	0%	0%
設問11	児童	自分(じぶん)には良(よ)いところがあると思(おも)いますか	40%	28%	10%	5%	17%
	保護者	お子さんは自分の良さを意識できていますか	14%	56%	25%	2%	3%
	教職員	自尊感情を育む指導	19%	57%	19%	0%	5%

この学校評価アンケートは、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の具現化に向けた各種取組を、児童・保護者・教職員から見た実現度を比較することで、現在の学校の取組を評価し、今後の改善策を練り学校運営や学級経営に生かすことをねらいにしています。

集計すると前期同様、概ね「はい」「だいたい」が80%以上の肯定的な結果が出ています。項目ごとに見ても前期と同じような傾向の結果です。保護者から見た学校・家庭での学習の様子は両方で5パーセント程度の改善が見られました。さらに、あいさつについては約10パーセント肯定的な評価が増えています。

一方、児童の回答では規範意識や安全への意識、自尊感情や主体性を訪ねた項目で否定的な意見が少し増えて待っています。設問5や設問11では「わからない」と答えている児童も前期から減らず、重点的に取り組んでいる成果は表れていない結果が出ています。ただ、取り組んだことが直結するような項目ではないので、内容改を善しつつ継続していく方針です。

このように、アンケート結果としては劇的な改善は見られませんでした。しかし、教職員から見た児童全体の様子は良好で、制約が多い情勢の中ですが学習や学校でのいろいろな活動に前向きに取り組んでいる様子がたくさん見られます。児童が実感し、自信をもつところまでは残念ながら届いていませんが、教職員から見ると児童は大きく成長しています。児童の成長については保護者の皆様の記述からも強く感じるができます。(裏面で一部紹介させていただきます。)児童の成長を学校・家庭両方で繰り返し子どもたちに伝え、気付かせることが次の重点課題と考え取り組んでいきます。保護者の皆様、ご協力をお願いいたします。